

市役所位置、JR復旧、幹線道路など 新たなまちづくりや産業振興で論戦

12月11日から12日までの2日間にわたり8人が登壇

一般質問

登壇順

伊勢 純 (日本共産党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 住宅リフォーム助成などの被災住宅支援について 2 就学援助、学校給食費及び「子どもの学び基金」について 3 乳幼児のワクチン接種について 4 米軍戦闘機及び米軍輸送機オスプレイの低空飛行訓練について
鵜浦 昌也 (新志会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 市役所など新たに建設する公共施設の場所選定について 2 気仙広域環境未来都市計画について 3 本年度一般会計予算の執行状況について
及川 修一 (魁)	<ol style="list-style-type: none"> 1 小友浦周辺の復興について 2 高田地区土地利用計画について 3 市内東部地区の復興について
大坪 涼子 (日本共産党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 復興に向けた市長の政治姿勢について 2 県立高田病院の再建計画について 3 防災集団移転促進事業の見通しについて
佐藤 信一 (新政会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 第一次産業の振興について 2 被災者支援対策について 3 復興に向けたまちづくりの取組みについて
菅野 定 (魁)	<ol style="list-style-type: none"> 1 道路行政について 2 林業振興について
清水 幸男 (新政会)	<ol style="list-style-type: none"> 1 長引く原発事故の影響と風評被害について 2 震災後の陸前高田地域振興(株)の運営と目指すものについて
藤倉 泰治 (日本共産党)	<ol style="list-style-type: none"> 1 国の復興予算流用問題について 2 本市震災復興計画の柱となる幹線道路整備及びJR大船渡線復旧について 3 災害FM放送の継続について 4 大震災の検証について



伊勢 純
(日本共産党)

被災住宅への 支援をさらに

質問 11月から実施中の住宅リフォーム助成を被災住宅補修にも拡大させることはどうか。

答弁 被災住宅補修にも地域商品券で助成し、市内業者以外の工事にも対象とする。

また、すでに一部損壊や半壊等の被災住宅補修等工事費補助金を申請した方も対象となり、その通知を個別に郵送する。

質問 被災住宅の補修や被災した宅地等への工事補助の申請



クリスマスの学校給食

期限は来年度末までであるが、まだ、この支援制度を知らない方も多いので延長すべきではないか。

答弁 被災住宅補修の補助申請は79件2461万円で、被災宅地復旧への補助は25件2502万円である。

県の申請期限は平成26年度末だが、県に期限の延長を働きかけていく。

学校給食費 軽減の検討を

質問 就学援助の状況はどうか。

答弁 被災した世帯に学校給食費や学用品費などを援助しているが、今年度の認定は小学生386人、中学生242人である。市としては平成26年度まで実施したい。

質問 震災後の子育て環境の改善のため、この機会に学校給食費に対する市からの助成を検討すべきと思うがどうか。

答弁 就学援助の対象児童生徒には、全額補助しているの、現時点では市から新たな助成は行わない。

質問 「子どもの学び基金」の支援金引き上げはどうか。

答弁 支援金引き上げは、今

後の寄附金の推移を見ながら検討する。

乳幼児のワクチン 接種について

質問 当市の接種状況はどうか。

答弁 平成23年度の接種率は、三種混合は90%、二種混合は95%、麻しん風しん混合ワクチンは98%、BCGは98%となっている。

質問 乳児のワクチン接種の対象期間が短期のものもあり、確実に通知が届くようにすべきと思うがどうか。

答弁 出生後、予防接種と健診のお知らせを同時に送付し、案内は個別におこなっている。震災後は市外等に避難されている方にも通知している。

未接種の方には再通知や電話で、また児童であれば学校を通じて連絡し、接種洩れが無いようにしている。



予防接種のパンフレット



菅野 定
(魁)

高田北幹線道路と 新笹ノ田トンネルの実現を

質問 アップルロードから延伸し、農免道と並行して走る道路は当市のまちづくりに欠かせないと思うが、その見通しはどうか。

答弁 国道340号と連結する「高田北幹線」を整備する計画である。アップルロードから北幹線への連絡道については、「市街地復興効果促進事業」により設計等を行い、県等に対して要望している。

質問 国道343号は東日本大震災の際に救援、支援活動に重要な路線であった。今後の整備をどう進めるか。

答弁 「国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会」で、県・国に要望活動をしている。新笹ノ田トンネルは、総工事費126億円とし、早期整備に向けて、関係市町と連携した要望活動をしていく。

木質バイオマスの活用と シイタケ生産者への支援を

質問 市の施設等で、木質バイオマスエネルギーを活用する考えはどうか。

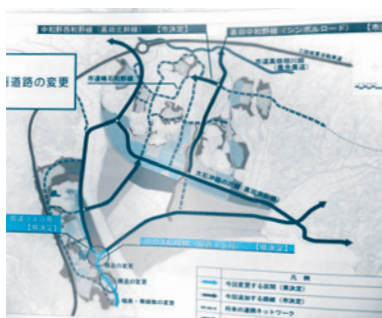
答弁 費用対効果を十分に考慮しながら、活用を検討する。

質問 放射性物質による被害を受けたシイタケ生産者への支援はどうか。

答弁 汚染されたホダ木の廃棄は県補助で市が実施、また新たな原木は、1本315円で森林組合を通じて供給する。

質問 今泉地区で、三陸縦貫道西側へ通じる林道と生活道はどうなるか。

答弁 市では縦貫道の下に、幅員4.5m、高さ4.5mのボックスカルバートの設置や森林作業道、縦貫道と並行する側道等の整備を要望している。



北幹線道路の予定図